

ボランティア活動報告(東海地区本部静岡支部)



貨物鉄産労は社会を支え合う取り組みとして、JR連合ビジョンにある「社会とつながり、地域とつながり、支え合いの輪を広げていきます」の方針を基に、支援活動やボランティア活動の取り組みを推進しています。

これまでも、「富士山の森づくり」・「山梨県早川町地域活性化ボランティア活動」・「宮城県名取地区海岸再生プロジェクト」・「被災者・被災地に対する救援・支援」など多くの組合員が積極的に参加し、健全で豊かな社会の発展に貢献してきました。この様な取り組みの中、貨物鉄産労も独自でボランティア活動に参加しています。

5月8日(日)、東海地区静岡支部は、ボランティア活動の一環として浜松市が主催する「市天然記念物のアカウミガメ」が安全に産卵できる砂浜を確保するための「ウエルカメクリーン作戦」に組合員と家族などを含め7名で参加しました。中田島砂丘は、日本でも有数のアカウミガメの産卵地であり毎年多くのアカウミガメが産まれています。そしてここからアメリカ西海岸やメキシコ付近を回り、約20年後に日本近海に戻ってきます。

砂浜に出ると、劣化したプラスチックやペットボトル、ビニール袋が散乱し、たばこの吸い殻、釣り具、中には車のタイヤなども捨てられており、地元企業や地域の住民らと共にゴミを拾い集めました。ペットボトルの蓋やビニール袋等は餌と間違い食べてしまい、アカウミガメの生死に関わっています。そしてゴミだけではなく、年々砂丘の海岸浸食が進み産卵場所も減ってきていることからアカウミガメの生息数も減少し、絶滅してしまう恐れもあります。

今回、私たちが子供の時に触れてきた壮大な砂丘と正常な自然の連鎖を未来の子供たちに残す活動に触れ、貴重な時間を過ごすことができました。これらの活動を通じて自身で体感してきた事やボランティア活動の意義を組合員に伝え、労働組合に対するイメージの刷新や、若い組合員が参加することで社会貢献や組織の存在意義を考えてもらい、取り組みの幅を広げていきたいと思います。

